

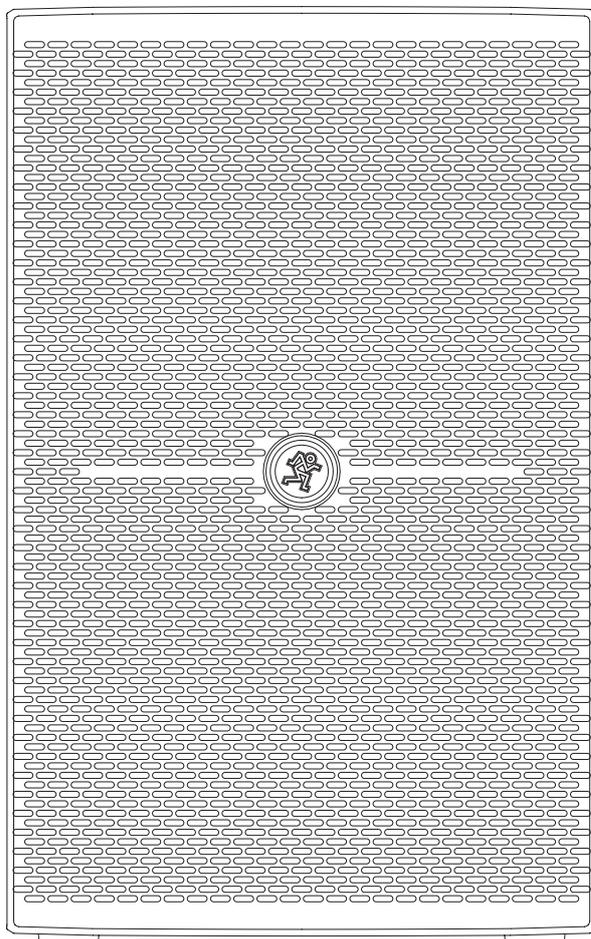
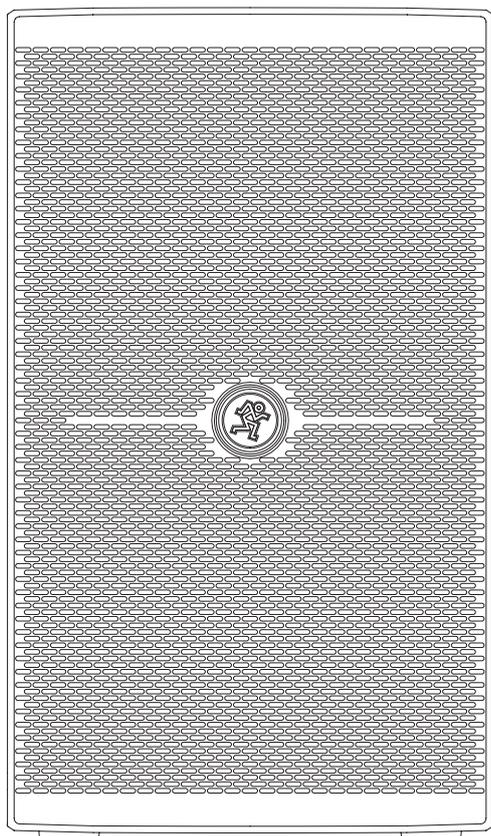


THUMP 212XT

THUMP 215XT

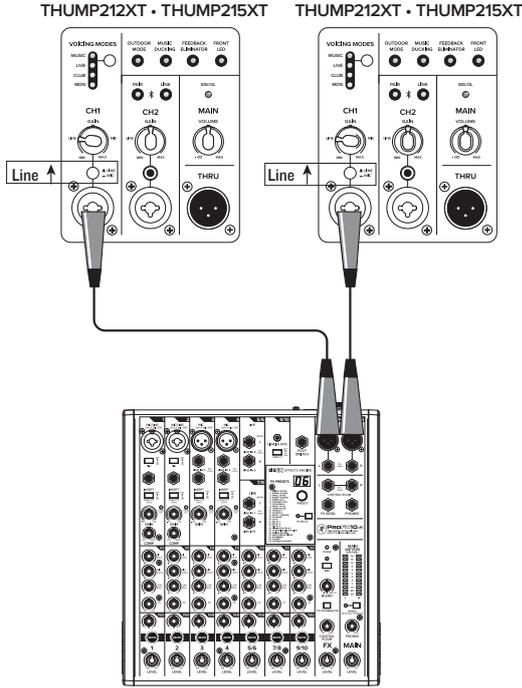
1400W POWERED LOUDSPEAKERS

クイックスタートガイド

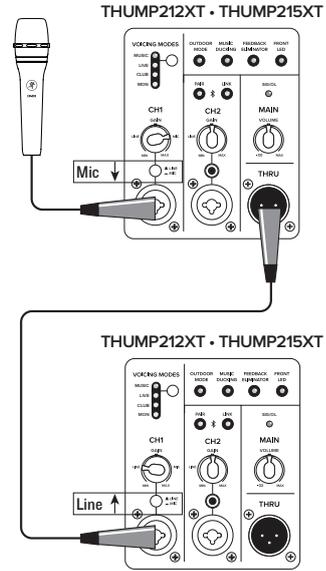


接続例

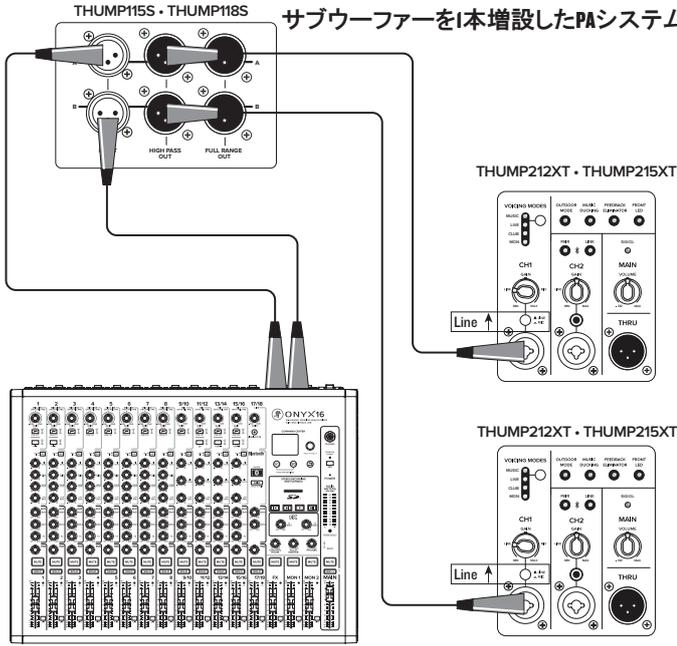
ステレオ使用時



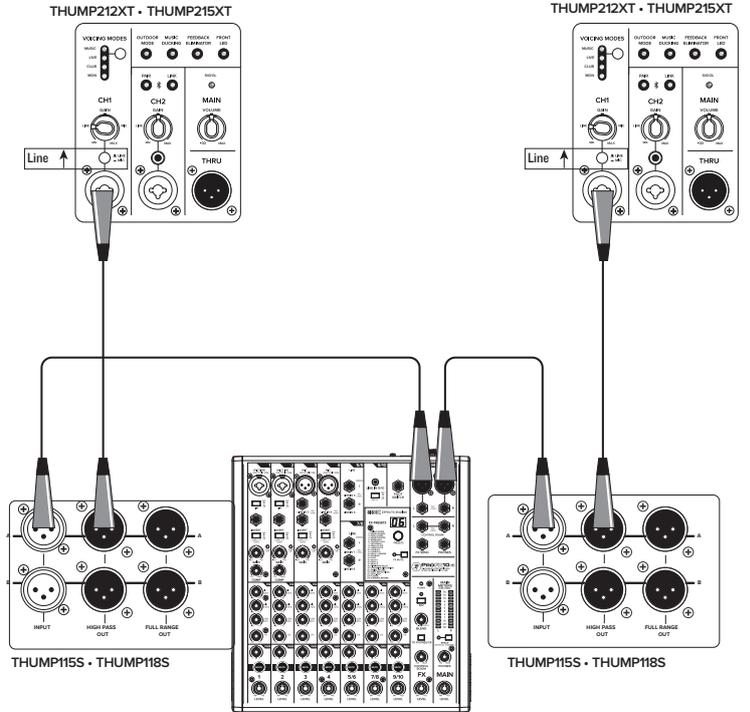
1本のマイクを使用し複数台のTHUMPシリーズを増設する場合

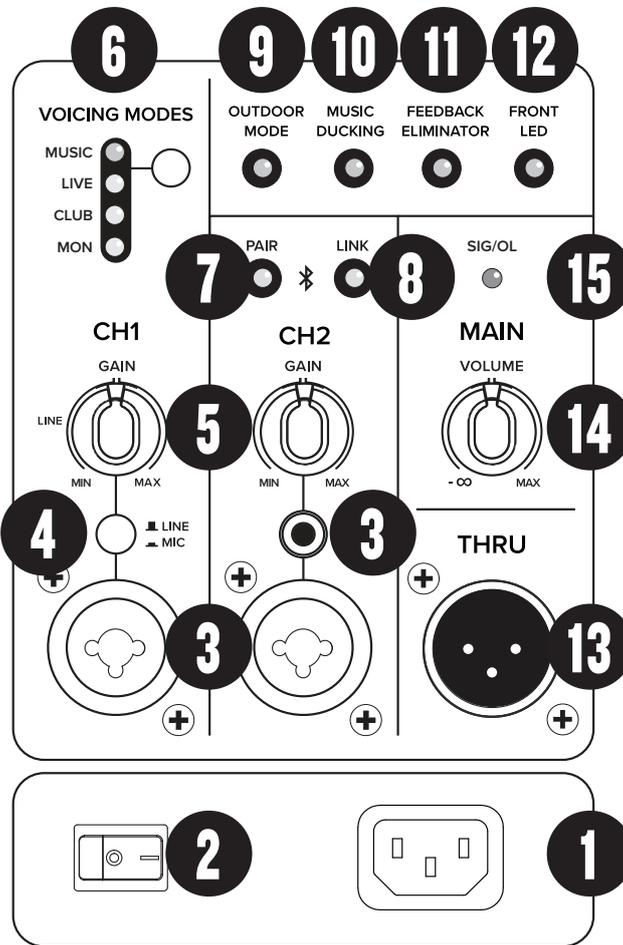


サブウーファーを1本増設したPAシステム



サブウーファーを2本増設したPAシステム





背面パネルの仕様

- 電源コネクタ 付属のAC電源コードをこのIECジャックに接続します。付属のAC電源コード以外は使用しないでください。
- 電源スイッチ Thump212/215XTの電源のオン/オフを切り替えます。電源がONになった場合は本体のフロントにあるLEDが点灯します
- 入力コネクタ マイクやミキサー等の音源を接続します。マイクを直接接続する場合は、必ず両端XLR3ピンケーブルで接続してください。
- マイク/ライン入力セレクタースイッチ マイクを接続した場合はこのスイッチを押し込んでください。ミュージックプレーヤーやミキサー等を接続した場合はこのスイッチは突き出した状態に設定してください。※注意:このスイッチは20dbのレベルを瞬時にオンオフできるスイッチです。設定を変更する際は必ずGAINノブを下げ切った状態でおこなってください。
- GAINノブ マイクを接続した場合はこのノブを12時以上上げてください。ミュージックプレーヤーやミキサー等を接続した場合は11時程度の位置で問題ないでしょう。ただしいずれも歪やノイズがないレベルで設定してください。
- Voicing Mode ご使用用途によって選択してください。音楽再生時はMusic、イベント使用時はLive、DJイベント時はClub、モニター使用時はMONが最適です。
- ※注意:ペアリング完了前にアプリ「THUMP CONNECT2」は起動しないでください。ペアリング完了後に「THUMP CONNECT2」アプリを起動してください。Bluetoothペアリングボタン このボタンを長押しすることでBluetoothペアリングを開始します。Bluetooth対応デバイスの設定→Bluetoothから本機を選択しペアリングを行ってください。ペアリング方法は各Bluetooth対応機器のマニュアルをご参照ください。静電気放電(ESD)の影響を受けるとBluetooth接続が途切れる場合があります。その際は再度Bluetoothペアリングを行ってください。
- スピーカーリンク 1台目のTHUMP XTとペアリングが完了後、このボタンLINKボタンを長押しするとこのボタンが青く素早く点滅を開始します。その間、30秒以内に2台目のTHUMP XTの同じボタンを押してください。リンクを開始します。1台目のスピーカーがペアリングできていない場合は2台目とリンクすることができません。スピーカー同士は手の届く距離でリンク作業を行ってください。リンクが完了するとこのボタンは点滅から点灯にかわります。リンクがうまくいかない場合は、2本とも電源を一度シャットダウンし再度1本目のペアリング作業から開始してください。
- Outdoor Modeスイッチ 屋外で使用する場合、このスイッチを押しください。
- Music Ducking LEDスイッチ ch1に接続した音源が優先され再生されます。このボタンを押すとch2の音源はch1に音声が入力されると自動でレベルが下がります。
- フィードバックエリミネータースイッチ このスイッチを押すことで自動的に「キーン」という不快なハウリングを感知し削除してくれます。ただし効果がありすぎる場合は保護回路が動き電源がオフになることもあります。その際はこのスイッチをオフに設定してください。
- フロントLEDスイッチ 電源がONの際にこのスイッチを押すとフロントのLEDが点灯します。
- Thru 追加のサブウーファーや他のフルレンジスピーカー接続するための出力端子です。
- ボリューム 出力レベルを調整するノブです。
- オーバーロードLED このLEDが常時点灯している場合は過大入力と考えられます。接続機器側で出力レベルを下げてください。この作業を行わず過大入力が続いた場合に発生する不具合は保証修理対象外となります。

まずはじめに

- マニュアルの重要な安全注意事項を読み、理解してください。
https://mackie.com/img/file_resources/THUMPXT_2022_OM.pdf
- 接続機器すべての機器の電源がオフになっているのを確認したのち、ケーブルの接続を開始します。マスターボリューム、レベル、ゲインコントロールがすべてオフになっていることを確認してください。
- サブウーファーを使用しない場合、ミキシングコンソール(または他の信号ソース)からの出力をラウドスピーカーのリアパネルのインプットに接続します。
- サブウーファーを使用する場合、ミキシングコンソール(またはその他の信号ソース)の出力をサブウーファーのリアパネルのインプットに接続し、サブウーファーのハイパス出力をラウドスピーカーのインプットに接続してください。
- 電源ケーブルをサブウーファー/ラウドスピーカーのIEC電源コネクタにしっかりと押し込み、もう一方の端を電源コンセントに差し込みます。アースは必ず取ってください。
- ミキシングコンソール(またはその他の信号ソース)の電源をオン
- サブウーファーの電源をオン
- ラウドスピーカーの電源をオン
- スピーカーに接続した音源やミキサーのレベルが適切に設定されているかを確認
- 音源を再生しミキサーのフェーダーを適切な位置まで上げる

製品仕様

	THUMP212XT	THUMP215XT
周波数特性 (-10 dB)	47 Hz - 23 kHz	40 Hz - 23 kHz
指向性	90° 水平 x 60° 垂直	
最大音圧レベル SPL Peak	128 dB	129 dB
トータルシステムパワー	1400 watts peak	
Low Driver ・ アンプ仕様	12 in / 305 mm ドライバーユニット 1200 watts peak Class D パワーアンプ	15 in / 381 mm ドライバーユニット 1200 watts peak Class D パワーアンプ
HF Driver ・ アンプ仕様	1.0" / 25 mm ポリマーコンプレッションドライバー - 200 watts peak Class D パワーアンプ	
クロストークポイント	2.1 kHz	
入力	XLR/6.3 φ TRSコンボx2 + ステレオミニ	
出力	XLRバランス出力(スルー)	
Bluetooth	5.0 オーディオストリーミング & アプリコントロール	
電源仕様	100-240V~, 50-60 Hz, 75W	
保護回路	ピークおよびRMSリミッティング、電源およびパワーアンプ過熱保護回路	
寸法 (H x W x D)	24.2 x 14.1 x 14.0 in 615 x 359 x 355 mm	27.0 x 17.4 x 14.0 in 685 x 442 x 355 mm
重量	29.3 lb / 13.3 kg	35.1 lb / 15.9 kg

予告なく仕様変更する場合がございます